筆者略歴

福島紀子

医学博士
1973年　共立薬科大学卒業
同　年　共立薬科大学助手（無機物理化学教室）
1990年　同　講師（社会薬学研究室主任）
2000年　同　助教授（社会薬学研究室主任）
2003年　共立薬科大学附属薬局　薬局長（兼任）
2005年　共立薬科大学教授
2008年　慶應義塾大学薬学部教授（社会薬学）・慶應義塾大学薬学部附属薬局長

本学で社会薬学研究室を設立し，フィールド活動を重視した薬剤師教育を実施.
薬と社会，社会と薬剤師の働きについてテーマとし，今後の薬剤師に必要な機能の構築を試みている.

著　書
「薬と社会と法」共著　法律文化社
「社会薬学」　『化学と薬学の教室』連載　廣川書店
「医療薬学総論」共著　朝倉書店（1999年12月）

大井一弥

1986年　城西大学薬学部薬学科卒業
同　年　三重大学医学部研究助手
1987年　社会保険羽津病院薬剤部（1996年；四日市社会保険病院に病院名改変）
1998年　四日市社会保険病院薬剤部係長（病棟担当症例：1003例）
2005年　城西大学薬学部病院薬剤学講座助教授
2007年　城西大学薬学部薬物治療管理学講座准教授
2008年　鈴鹿医療科学大学薬学部　病態・治療学分野　臨床薬理学研究室教授
同薬学科長（2010年から2014年まで）
現在に至る

現在，日本薬理学会学術評議員，日本医療薬学会代議員，日本腎臓病薬物療法学会評議員，ICD（Infection Control Doctor），日本医療薬学会認定・指導薬剤師，日本腎臓病薬物療法専門薬剤師

主に乾燥皮膚発現機構の解明，クラッシュ症候群の病態と治療法開発に関する研究を行っている。